

議会報発行特別委員会 視察研修レポート

視察月日 1月28日、29日
 視察地 熊本県玉名郡南関町
 熊本県阿蘇郡南阿蘇村
 球磨郡あさぎり町

議会報発行特別委員会

委員長 益田 隆一
 副委員長 中島 和正
 委員 山北清四郎
 委員 古賀 知文
 委員 徳永 伸行
 委員 菰方 英二

3町ともページ数は本町の20ページよりも少なく、14〜18ページであり、内容や一般専門で勝負している感があり、見やすいという特徴があつた。手にとって町民に關心を持つてもらおうというのはどの町も考えているというの是一緒であつた。

それぞれの共通認識である「まずは見てもらう」というのが根本にあり、見てもらわないと始まらず、いかに見やすく、インパクトがあるところが大事であると思う。

今回の視察研修ではどの町も同じことを考えており、いかにレベルアップしていくのが課題である。本



議会報視察研修の様子

町の広報委員のメンバーのチームワークに関しては負けない自負しており、全員の一致団結した協力体制と、議会だよりを良くしていきたいところである。

本町の議会だよりの目指すところは、町民に關心を持つてもらふことは当然であるが、まずは福岡県での広報大会で賞を受賞することにより、アピールしてこちら側に視察研修してもらふ立場になれるよう、努力精進していきます。

監査委員総会研修会報告

(平成28年2月16日)

研修 先 福岡県自治会館
 研修内容 ・平成27年度第2回総会
 ・法律的背景と監査委員のあるべき姿
 参加者 代表監査委員 川村 和正
 議選監査委員 中島 和正

平成27年度第2回総会において、27年度会務報告と平成28年度監査委員協議会事業計画(案)と歳入歳出予算(案)が審議され全会一致にて可決承認されました。

その後の監査委員研修会では、講師に公認会計士で愛媛県砥部町の代表監査委員でもある影浦浩二氏を迎え、「法律的背景と監査委員のあるべき姿」と題し研修会が実施されました。

監査を行う上での観点や自治体の事務執行が法律の規定の趣旨(住民福祉増進、最少経費で最大効果、合理化や規模適正化など)に則っているかなど監査委員としての留意点を細部にわたり説明を受けました。私たち大木町監査委員としても、専門的能力の向上と知識の蓄積、独立性も堅持しながら、有効かつ効率的な監査に努め、職業的専門家として正当な注意義務をはたしながら、住民福祉の向上と社会の期待に応えていきます。

福岡県町村監査委員協議会定期総会



町村監査委員協議会副会長(川村和正)あいさつ